

## 化粧品市場に関する調査結果 2009

－景気悪化の影響を受け、市場規模はマイナス成長に－

### 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて化粧品市場の調査を実施した。

1. 調査期間：2009年6月～9月
2. 調査対象：化粧品ブランドメーカー、化粧品受託メーカー、化粧品原材料メーカー・商社、流通業者
3. 調査方法：当社専門研究員による直接面接取材・電話取材、及び、郵送・インターネットアンケート調査、文献調査併用

### 【調査結果サマリー】

#### ◆ 2008年度の化粧品市場規模は2兆3,144億円、前年度比99.6%とマイナス伸長

2008年度の化粧品市場は、ブランドメーカーの出荷金額ベースで2兆3,144億円（前年度比99.6%）となった。2008年秋以降の景気悪化の影響を受け、市場規模はマイナス成長へと転じた。

#### ◆ 異業種参入が増加、競争が激化

化粧品市場は、バイオ、ナノテクノロジー、有機合成などの新技術を利用して新規参入するメーカーや、通販や訪販などの販売ノウハウなどを武器に新規参入するメーカーが増加しており、市場での競争が激化している。

#### ◆ 2009年度の市場規模予測は2兆3,005億円、前年度比99.4%

2009年度の市場は、引き続き景気悪化の影響を受けている。このことから2009年度の市場規模は、前年度比99.4%の2兆3,005億円と予測する。

#### ◆ 資料体裁

資料名：「化粧品マーケティング総鑑 2009年版」  
発刊日：2009年9月30日  
体裁：A4判 674頁  
定価：110,250円（本体価格105,000円 消費税等5,250円）

#### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝  
設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>）

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報PRグループ TEL：03-5371-6912 E-mail: [press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報PRグループ迄お問合せ下さい。

## 【 調査結果の概要 】

### 1. 市場概況

2008年度の化粧品市場は、ブランドメーカーの出荷金額ベースで2兆3,144億円（前年度比99.6%）となった。市場規模は2005年度以降ほぼ横這いの状態を続けていたが、2008年秋以降の景気悪化の影響を大きく受け、マイナス成長へと転じた。

### 2. 注目すべき動向

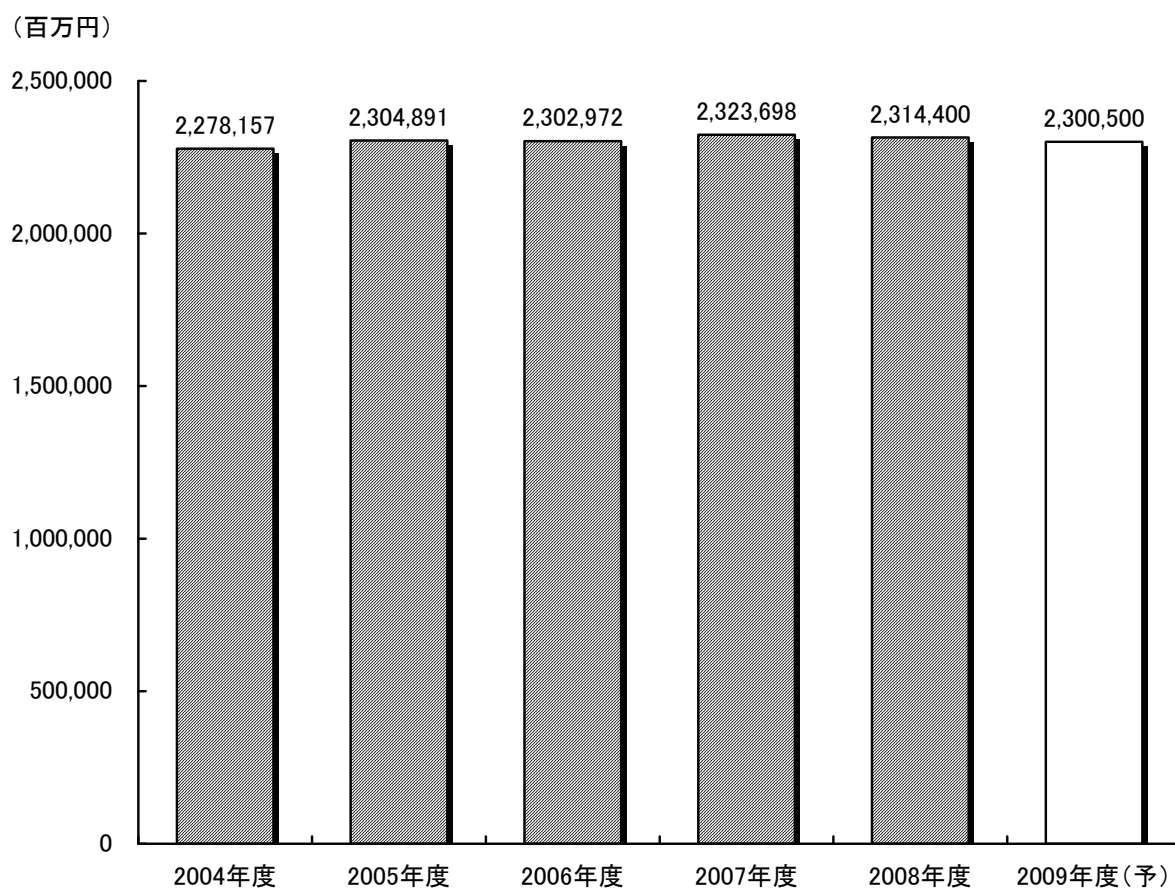
化粧品市場は、バイオ、ナノテクノロジー、有機合成などの新技術を利用して新規参入するメーカーや、通販や訪販などの販売ノウハウなどを武器に新規参入するメーカーが増加しており、市場での競争が激化している。化粧品ブランドメーカーでは、既存顧客を維持するため、美容部員の教育強化、優良顧客の維持・育成を目的としたポイント制度の導入やポイント制度の強化を図っている。

### 3. 将来予測

2009年度の市場は、引き続き景気悪化の影響を受けている。このことから、2009年度の市場規模は前年度比99.4%の2兆3,005億円と予測する。

今後の市場規模拡大のためには、消費者の化粧品の購入頻度の増加および使用量の増大、高付加価値製品の提案による単価アップ、化粧品を使用する年齢層の拡大、男性における化粧品使用率のアップなどによって、市場活性化を図っていくことが必要である。また、今後の参入メーカーの大幅な業績アップの施策としては、中国をはじめとした積極的な海外展開を戦略的に志向せざるを得ないだろう。

図1. 化粧品市場規模推移と予測



矢野経済研究所推計

注1:ブランドメーカー出荷金額ベース

注2:(予)は予測値